

第3期伊賀市中心市街地活性化基本計画への掲載事業（案）

資料5

3期計画 通し番号	中間案 通し番号	2期計画 事業番号	事業名称 (赤字：新規掲載事業)	実施主体	実施時期	事業内容	関連する 基本方針	掲載章
1	1	31	伊賀市空き家対策総合支援事業	伊賀市 (住宅課空き家対策室)	H28 ～	空き家等を再生または除却しようとする者に対し、その経費の一部を補助することで、安全安心なまちづくりの推進や良好な生活環境の保全を図る。	1,2	4,6
2	2	10	町家等修理修景事業及び助成事業	伊賀市 (都市計画課)	H20 ～	城下町の風景を保存する目的で、伊賀街道・大和街道沿線及び寺町地区景観計画指定地域内の優れた景観形成に寄与すると認められる建築物等に、費用の一部を助成する。	1,2	4
3	3	34	伊賀市合併処理浄化槽設置整備事業	伊賀市 (下水道課)	R4 ～	汲み取り便所・単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への切り替え、または新築に伴う合併処理浄化槽の設置にかかる費用の一部を補助することで、合併処理浄化槽への切り替えを促進する。 また、中心市街地区域内の店舗への合併処理浄化槽設置に対する補助金を交付する。	1,2	4,6
4	-	-	通学路整備事業	伊賀市 (道路河川課)	R6 ～	通学路交通安全プログラムに基づく交通安全対策の推進を図るため、歩道が整備されていない道路の路側帯にグリーンベルトを設置し、車のドライバーに通学路であることを視覚的に認識させ、車両の速度を抑制させるとともに通行帯を明確にする。	1	4
5	-	-	空き家活用の重点実施検討事業	伊賀市	R7 ～	空き家対策特別措置法の改正に伴い、中心市街地エリアを空き家等活用促進区域に指定することが可能となったことから、中心市街地における空き家等及びその跡地の活用に関する取組状況の把握や、それらを踏まえ可能となる対応について検討を行う。	1	4,6
6	4 5	12 13	子育て支援室事業	伊賀市 (こども未来課子育て支援室)	H17 ～	伊賀市に住所を有する未就学児とその保護者等を対象に、ハイトピア伊賀4階の交流広場を開放し、子育て支援に寄与する各種教室や、休日に子育て世帯どうしが交流できる事業等を開催し、子育ての不安解消や子育て支援に係る相談等を実施する。 また、子育てを助けて欲しい人（依頼会員）の要望に応じて、子育てのお手伝いができる人（提供会員）を紹介し、相互の信頼と了解の上で一時的に子どもを預かる有償ボランティアによる会員組織を支援し、援助活動の調整を実施する「ファミリー・サポート・センター」を設置する。	1	5

3期計画 通し番号	中間案 通し番号	2期計画 事業番号	事業名称 (赤字：新規掲載事業)	実施主体	実施時期	事業内容	関連する 基本方針	掲載章
7	7	(35)	交流型図書館運営活用事業	伊賀市 (上野図書館) 株式会社伊賀市にぎわいパートナーズ	R7 ～	上野公園から城下町エリアを結ぶ導線を「にぎわい忍者回廊」と位置づけ、「民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律（PFI法）」に基づき、官民が一体で地域資源を面的にとらえたにぎわいづくりを実施する。にぎわいづくりの拠点として整備した、市指定有形文化財「旧上野市庁舎」をリノベーションした交流型図書館を核とする官民複合施設の運営を行う。	1,2	5,7
8	-	-	美術博物館整備事業	伊賀市 (文化振興課美術博物館建設準備室)	R5 ～ R11	新しい芭蕉翁記念館を含め、博物館と美術館を兼ね備えた施設を「美術博物館」と総称し、その建設に向けた検討を進めている。伊賀市は、芭蕉翁の俳文学・伊賀焼・伊賀流忍者・能・伝統行事など、固有の文化を育み、また、絵画、書、文学など様々な分野で多くの偉大な文化人や芸術家も輩出してきた。そのほか、歴史的な遺産や遺跡なども数多く有している。美術博物館は、これらの「伊賀の歴史文化」を、適切に保存・管理し、研究し、公開・活用して、その価値を高めながら、未来に引き継いでいくための施設をめざす。また、市民が身近なところで、歴史文化に触れる場を作ることで、未来を担う子どもたちの豊かな感性を育て、伊賀市の歴史文化を大切にする心を育むための拠点となる。	2,3	5,7
9	-	-	芭蕉翁関連施設運営活用事業	伊賀市 (文化振興課)	R4 ～	芭蕉翁関連施設である「芭蕉翁記念館」、「史跡芭蕉翁生家」、「蓑虫庵」において通常観覧以外にギャラリートークや俳句教室、句会等のイベントを開催する。また、3館共通券を発行する。その他、中心市街地内で開催されるイベントとの連携を図る。	2,3	5,7
10	-	-	岸宏子記念伊賀文学館運営活用事業	伊賀市 (文化振興課)	R5 ～	作家岸宏子から遺贈された旧宅を改修し、令和5年12月に「岸宏子記念伊賀文学館」として開館した。岸宏子や横光利一など伊賀市縁の作家の作品などを展示し、郷土の文化や先賢の功績を知り、文学振興を促進する場として活用を図る。また、和室を文芸活動や小集会の場として貸し出し、駐車場を近接する赤井家住宅と利用連携することにより、集客及び地域振興を図る。	2,3	5,7
11	-	-	子ども第三の居場所事業	伊賀市社会福祉協議会	R5 ～	中心市街地の空き家を改修し、様々な課題を抱えた子どもに第三の居場所を提供する。	1	5
12	8	36	ふれあいプラザひまわり運営事業	株式会社ふれあいプラザひまわり	R5 ～	ふれあいプラザひまわり1階に食料品・弁当・惣菜・土産等を販売する商業施設やフードコート等を設け、地域住民の生活利便性を向上させる。フードコートには商業施設で購入した弁当等を食べられるスペースを設けるなど、住民が気軽に利用できる憩いの場にすることで、市民のコミュニティ施設として周辺エリアの賑わいを生み出していく。	1	5

3期計画 通し番号	中間案 通し番号	2期計画 事業番号	事業名称 (赤字：新規掲載事業)	実施主体	実施時期	事業内容	関連する 基本方針	掲載章
13	-	-	まちなか空き家居住支援事業	伊賀市	R7 ～	居住のために空き家を購入し、リフォーム等を行う場合の費用を助成する。	1	6
14	-	-	まちなか空き家建替え支援事業	伊賀市	R7 ～	昭和56年以前に建てられた老朽空き家を購入し、解体後に同所で新築する人への支援を行う。	1	6
15	9 10	1 2	まちなか移住コンシェルジュ事業	伊賀市 (地域創生課) (住宅課空き家対策室)	R1 ～	伊賀市内への移住検討者に対し、移住コンシェルジュが、住まいや仕事・子育てについての情報提供や起業に関する相談窓口の紹介、自治会との繋ぎ役などの総合的なサポートを行うほか、「伊賀の概要」、「空き家バンク」、「子育て支援」、「市の取り組み」等の情報をひとまとめにした「iga style」を伊賀市のホームページで公開する。 また、伊賀流空き家バンクのホームページでは物件情報や地域情報や市の魅力について情報発信を行うほか、物件内覧希望の移住検討者へ伊賀市の魅力を伝えるために、職員がホスト役となって地域案内等を行い、第2の故郷と認識するための取り組みを行う。さらに、空き家物件は市ホームページでバーチャル内覧を可能にし、市公式 Youtube チャンネルで動画配信するなど、わかりやすい情報発信を行う。	1	6
16	11	9	コミュニティ受入態勢構築支援事業	伊賀市 (地域創生課)	R1 ～	移住コンシェルジュが、中心市街地に移住を検討している人の支援として、自治会等への問合せやつなぎ役を行う。	1	6
17	6	8	古民家等再生活用事業	株式会社NOTE伊賀上野 伊賀市 (住宅課空き家対策室)	R1 ～	民間ノウハウを活用した空き家対策事業（城下町ホテル事業）を実施する。豊富な歴史文化資源や空き家を活用し、城下町全体に「日本の歴史文化」を体感できる観光関連施設や住民がより楽しく過ごすための施設を点在させることで、城下町内の回遊性及び魅力を高めることを目的とした事業を行う。	1,2	7
18	7	(35)	忍者体験施設運営活用事業	株式会社伊賀市にぎわいパートナーズ 伊賀市 (観光戦略課)	R6 ～	上野公園から城下町エリアを結ぶ導線を「にぎわい忍者回廊」と位置づけ、「民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律（PFI法）」に基づき、官民が一体で地域資源を面的にとらえたにぎわいづくりを実施する。市指定有形文化財「成瀬平馬家長屋門」敷地に整備した忍者体験施設を活用し、忍者体験や伊賀の歴史と忍者の世界を体感できるアトラクションの他、伊賀の食材を使ったグルメや土産物ブースを設け、誘客促進を図りながら持続可能な観光まちづくりの取組を実施していく。	1,2	7

3期計画 通し番号	中間案 通し番号	2期計画 事業番号	事業名称 (赤字：新規掲載事業)	実施主体	実施時期	事業内容	関連する 基本方針	掲載章
19	7	(35)	旧上野市庁舎運営活用事業	株式会社伊賀市にぎわいパートナーズ 伊賀市 (中心市街地推進課)	R7 ～	上野公園から城下町エリアを結ぶ導線を「にぎわい忍者回廊」と位置づけ、「民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律（PFI法）」に基づき、官民が一体で地域資源を面的にとらえたにぎわいづくりを実施する。にぎわいづくりの拠点として整備した、市指定有形文化財「旧上野市庁舎」をリノベーションした交流型図書館を核とする官民複合施設の運営を行う。	1,2	7
20	12	3	伊賀市起業・経営革新促進事業	伊賀市 (商工労働課)	R1 ～	市内における新たな事業主体の創出及び市内事業者の経営革新を促進し、地域経済の維持・発展を図るため、改修費・付帯設備費及び広告宣伝や商品開発などに要する経費の一部の補助を行う。 ①地域と連携した起業支援事業 市外の個人または法人(申請時点で市内に移住して3年を経過していない者を含む)が、市内の団体等と連携して、市内で事業活動を行う場合、空き家・空き店舗の改修費・付帯設備などを補助する。 ② 起業支援事業 市内の個人または法人が、市内で事業活動を行う場合、空き家・空き店舗の改修費・付帯設備などを補助する。 ③経営革新支援事業 市内の個人または法人が、経営革新を目指し、現に事業を行っている店舗・事業所の改修、省エネ化、DX化などを行う場合補助する。	1,2	7
21	-	-	まちなか空き家空き店舗・出店支援事業	伊賀市	R7 ～	中心市街地地域（空き家等利活用促進区域）の空き家・空き店舗に出店する事業者への支援を行う。	1,2	7
22	-	-	まちなか空き家空き店舗・活用支援事業	伊賀市	R7 ～	中心市街地地域（空き家等活用促進区域）の空き家・空き店舗の所有者が、空き家・空き店舗を活用（貸出）するための改修費の支援を行う。	1,2	7
23	-	-	まちなか空き家空き店舗転用支援事業	伊賀市	R7 ～	中心市街地地域（空き家等活用促進区域）の空き家・空き店舗を活用し、非営利の活動（子育て支援、高齢者の集い、地域・サークルなどの活動拠点）を行うために必要な改修工事及び家賃に対する支援を行う。	1,2	7
24	13	14	プレイスブランディング／情報発信事業	伊賀上野DMO 伊賀市 (観光戦略課)	H29 ～	観光公式サイトや観光パンフレットを中心として、旅行前、旅行中など旅行者の状況に適した発信方法により、伊賀市内の観光資源の魅力等を発信するとともに、地域外で開催される観光関連イベントへの出展を行う。 また、来街者が快適に過ごせるよう受入環境整備や市内事業者に向けたセミナーなど啓発事業を行い、来街者の満足度を上げる。	2,3	7

3期計画 通し番号	中間案 通し番号	2期計画 事業番号	事業名称 (赤字：新規掲載事業)	実施主体	実施時期	事業内容	関連する 基本方針	掲載章
25	13	14	旅行商品企画開発・販売及び支援事業	伊賀上野DMO 伊賀市 (観光戦略課)	H29 ～	市内事業者との連携により、観光資源の発掘や磨き上げを行い、観光商品を造成する。また、造成した商品等について、旅行商談会等に出展することにより域外販路の開拓を行うほか、市内での誘客促進イベント実施にあたっては必要な支援等を行う。	2,3	7
26	13	14	観光人材育成事業	伊賀上野DMO 伊賀市 (観光戦略課)	H29 ～	市民・市内事業者の観光に関する意識醸成やおもてなし向上のため、地域内観光地の有料ガイドを育成するための取り組みや将来の観光まちづくりを担う人材育成を実施する。	2,3	7
27	-	-	日本遺産「忍びの里 伊賀・甲賀」推進事業	忍びの里伊賀甲賀忍者協議会	H29 ～	日本遺産に認定された「忍びの里 伊賀・甲賀ーリアル忍者を求めてー」のストーリーを通じて、官民共創による忍者ブランドに基づく観光商品の開発やまちづくりの観点を取り入れた地域産業の振興、国内外からの観光誘客、地域住民への普及啓発を図る。	2,3	7
28	-	-	史跡上野城跡及び伊賀上野城下町における歴史的資源を活かしたまちづくり推進事業	MIRAIGAプロジェクト 伊賀上野DMO 伊賀市 (観光戦略課)	R5 ～	地域の歴史や文化資源の保全、継承を図るため、官民の連携・協力体制により、地域に残る歴史的資源を活用した持続可能な観光地域づくりを進める。	2,3	7
29	-	-	ユネスコ無形文化遺産 上野天神祭のダンジリ行事開催事業	上野文化美術保存会	H28 ～	ユネスコ無形文化遺産に登録された「上野天神祭のダンジリ行事」を開催する。	3	7
30	-	-	駅前広場利活用事業	伊賀市 (中心市街地推進課)	H28 ～	駅前広場をにぎわい創出の場として活用し、IGAMONOの販売やマルシェ等のイベントを定期的で開催する。 また、周辺部で生産される伊賀米等の農産物や伊賀牛等の畜産物を販売・発信することにより、中心市街地と周辺部との連携を図る。	2	7
31	-	-	伊賀産品魅力向上・発信事業	伊賀市 (商工労働課)	R7 ～	伊賀の歴史や風土に培われた産品を伊賀ブランド“IGAMONO”として認定し発信するとともに、その他の物産を含めた伊賀の産品が一堂に会するマーケットを中心市街地において開催する。 ●毎年5月：IGAMONOマーケット（伊賀上野NINJAフェスタと連携） ●毎年10月：じばさんまつり（上野天神祭と連携）	2,3	7

3期計画 通し番号	中間案 通し番号	2期計画 事業番号	事業名称 (赤字：新規掲載事業)	実施主体	実施時期	事業内容	関連する 基本方針	掲載章
32	-	-	中心市街地等商店街活性化事業	伊賀市 (商工労働課)	R7 ～	中心市街地及びその周辺地域における商店街等が実施する商店街活性化やにぎわい創出に寄与する事業に対して事業費の一部を補助する。 【令和6年度実施予定事業】灯りの城下町事業（上野商工会議所）、伊賀上野まちなかゼミナール開催事業（上野商工会議所）、上野中町商店会活性化事業（上野中町商店会）、伊賀・大和街道「灯りの芭蕉路」（芭蕉街商店街）、伊賀上野・まち百貨店（銀座商店街振興組合）、市民夏のにぎわいフェスタ（市民夏のにぎわいフェスタ実施委員会）、伊賀マルシェ（株式会社まちづくり伊賀上野）、ハイトピア伊賀商業施設ソーシャルアド事業（ハイトピア伊賀テナント会）、銀座商店街賑わい創出事業（銀座商店街振興組合）	2,3	7
33	14	17	伊賀上野NINJAフェスタ開催事業	伊賀上野NINJAフェスタ実行委員会	H15 ～	本市の地域資源である忍者を活用したイベントを開催し、市民や来街者のまちなか回遊を図るとともに、情報発信に積極的に取り組む。 伊賀市の「忍者市宣言」の宣言文に基づき、地域の事業者・団体と連携し、多くの市民が関われる忍びの里伊賀ならではの「まちなか」忍者イベントを開催することで、地域住民のシビックプライドを醸成するとともに、忍者による誘客や観光地域づくりを推進し、伊賀市全体の活性化につなげる。	2,3	7
34	15	25	ライトアップイベント「お城のまわり」開催事業	お城の周りライトアップイベント実施委員会	H28 ～	上野公園内とその周辺にある歴史的建物等をライトアップし、伊賀のすばらしさを再発見してもらうためのイベントを開催する。	3	7
35	22	28	市民夏のにぎわいフェスタ開催事業	市民夏のにぎわいフェスタ実施委員会	H20 ～	銀座通り、本町通りを会場に楽市、楽座を開催する。 中心市街地の商業活性化を目的として、実行委員会でターゲット・コンセプトを決め、個店はそれにそった魅力的な商品開発や体験メニューを考える。商店街が舞台となるフェスタで商業者と市民の祭りであり、地元商店街としてのイベントであり中心市街地の活性化を図る。 商業の担い手となる商店街の若手後継者が意欲的に取り組み、交流を深めていく。	2,3	7
36	-	-	伊賀上野灯りの城下町開催事業	伊賀上野灯りの城下町実施委員会	H21 ～	伊賀上野灯りの城下町を開催する。 また、バルチケットを使用して城下町の飲食店で食べ飲み歩きが楽しめる、伊賀上野城下町バルを同時開催する。	2,3	7

3期計画 通し番号	中間案 通し番号	2期計画 事業番号	事業名称 (赤字：新規掲載事業)	実施主体	実施時期	事業内容	関連する 基本方針	掲載章
37	-	-	上野城新能開催事業	上野城新能実施委員会	S59 ～	上野城新能を開催する。	3	7
38	-	-	伊賀上野・城下町のおひなさん開催事業	伊賀上野・城下町のおひなさん実行委員会	H21 ～	中心市街地の活性化や観光誘客を図るため、上野本町通りを中心に伊賀上野城下町において、テーマの沿ったおひなさんの展示や体験、飲食等のイベントを実施する。	2,3	7
39	21	(27)	新まちなか市「伊賀マルシェ」開催事業	株式会社まちづくり伊賀上野	R5 ～	伊賀マルシェを春夏秋冬のイベントとして年4回開催する。 出店者とお客様との交流の場となり、個店の魅力を知ってもらうとともに、新たに事業を考えている方のチャレンジの場となり、伊賀の食文化の発信や魅力度アップを図る。	2	7
40	23	33	伊賀上野まち百貨店開催事業	伊賀上野まち百貨店実行委員会	R3 ～	中心市街地全体をひとつの百貨店と捉え、イベント開催日には各個店で普段とは違う特別メニューや催事、企画を行う。参加者は各個店を繋げてまち歩きをすることで、城下町の歴史や魅力を再発見してもらう。	2,3	7
41	24	26	伊賀ぶらり体験博覧会「いがぶら」開催事業	いがぶら実行委員会	H26 ～	「伊賀をぶらりと体験する小さな旅」をコンセプトに、伊賀の魅力を発信する着地型観光イベントを開催する。地域の文化・歴史、自然、伝統工芸など様々な観光資源を掘り起こし、定番から斬新なものまで通年観光を実現させる新しい商品や体験プログラムを創出する。 また、率先して取り組む熱意あるプレイヤーを育成するとともに、いがぶら運営主体の体制強化を図り、持続的に販路を開拓するまでのプロセスを構築する。	2,3	7
42	-	-	忍者の里伊賀上野シティマラソン開催事業	伊賀上野シティマラソン実行委員会	R6 ～	2024年で35回目を迎える「忍者の里伊賀上野シティマラソン」は、まちの中心部にある伊賀鉄道上野市駅前のハイトピア伊賀周辺からスタートし、城下町の街並やのどかな田園地帯を走るハーフマラソンをメインとし、クォーターマラソン、5 km、ジョギングの4種目を開催。 また、大会会場では、地域の特産物販売や地域の食材を使った飲食ブースなどが出店し、参加ランナーをもてなす。	3	7
43	-	-	文化振興事業	公益財団法人伊賀市文化都市協会	R7 ～	中心市街地の文化財施設において、文化芸術に触れる機会を充実させることにより、芸術文化のまちづくりを進める。	2,3	7

3期計画 通し番号	中間案 通し番号	2期計画 事業番号	事業名称 (赤字：新規掲載事業)	実施主体	実施時期	事業内容	関連する 基本方針	掲載章
44	18	6	空店舗等情報システム整備及びコンサルタント事業	伊賀市中心市街地活性化協議会	R2 ～	空店舗率の減少と新規出店数の増加を図り、協働してまちの賑わいと地域経済の再生を目指すため、以下の事業を行う。 ・空店舗物件意向調査の実施による現状の把握と分析。 ・空店舗を不動産市場に流通させるための物件情報の作成。 ・創業・起業希望者への空店舗情報の提供。 ・活用希望者に対するコンシェルジュ機能。 ・空店舗にならないよう、巡回指導及び情報収集。	1,2	7
45	-	-	にぎわい拠点創出事業	株式会社まちづくり伊賀上野	R5 ～	誰もが気軽に来て、情報の共有ができる場所として「白鳳プラザ」を活用する。日常は「朝市」「作品展」「おもてなしの場」「地域のコミュニティの場」として活用し、まちなかの空店舗の持ち主と事業をしたい方の相談会を開催するほか、白鳳プラザをチャレンジショップの場としても活用する。	1,2	7
46	16	4	起業支援システム整備事業	上野商工会議所	H27 ～	創業者のさまざまな課題を解決するため、伊賀流創業応援忍者隊によるワンストップ窓口相談、創業スクールの開催、経営・資金調達に課する各種専門相談など、各関係機関と連携した支援を行う。 また、中心市街地で開業を希望している人には、空店舗等情報システム整備及びコンサルタント事業と連携し、物件情報の提供を行う。	1,2	7
47	17	5	商業集積再生事業	株式会社まちづくり伊賀上野	H21 ～	空き家をまちなみに調和するファサードに整備するとともに、テナントミックス施設を整備し、伊賀の特色を生かしたテナントの導入により魅力と集客力のある店の創出を図る。 また、空き家を利用して「チャレンジショップ」の実施に取り組む。	1,2	7
48	20	24	魅力ある店舗創出とP R事業	伊賀市中心市街地活性化協議会 上野商工会議所	R1 ～	国内外に向けて、「おもてなし」の向上や魅力ある店舗づくり、インターネットやSNSを活用した情報発信を行うための事業者向けの支援を行い、各個店の集客向上や観光客の増加により、市街地の商業の活性化を図る。	2	7
49	-	-	城下町回遊性向上のための方策検討事業	伊賀市	R7 ～	丸之内地下道の活用検討、忍者体験施設周辺の整備、リピーターを増やすための伊賀の魅力発信基地整備等、城下町の回遊性向上のための方策の検討・調査を行う。	2	7,8

3期計画 通し番号	中間案 通し番号	2期計画 事業番号	事業名称 (赤字：新規掲載事業)	実施主体	実施時期	事業内容	関連する 基本方針	掲載章
50	-	-	上野南部地区散策事業	上野南部地区住民自治協議会	～	いがぶら等で『上野南部地区の歴史と文化』をつかった南部地区内のまち歩きを募集し 観光客の皆さんに上野南部地区の良さを知っていただく。	2,3	7
51	-	-	伊賀線まつり開催事業	伊賀鉄道 伊賀鉄道友の会	R7 ～	上野市車庫にて「軌道自転車体験」や「運転シミュレーション」などの体験型イベントや鉄道グッズの販売などを行い、子どもから大人まで楽しめる恒例イベント。（毎年、5月3日に開催）	3	7
52	-	-	ビッグデータを用いた人流データ分析事業	伊賀市 (中心市街地推進課)	R6 ～	スマートフォンのGPS 機能を活用した人流測定システムから得られるビッグデータにより、来街者や回遊者の分析を行う。	1,2	7,8
53	-	-	三重大学伊賀連携フィールド運営事業	三重大学	H28 ～	上野商工会議所が設置する地域活性化センター「ハイトピア伊賀」内における三重大学伊賀連携フィールドを拠点として、国立大学法人三重大学、上野商工会議所及び伊賀市の三者間で連携協力し、教育・文化・研究の推進を図るとともに、地域振興上の諸課題に適切に対応することにより、三重大学における教育・研究を推進し伊賀地域の充実・発展に貢献する。	3	7
54	-	-	IGABITO育成事業（IGABITO育成補助金）	伊賀市 (地域創生課)	R4 ～	高等学校における人材育成の事業を推進し、自らが地域の担い手となる意識を持つ地域創造人材（IGABITO）の育成を図るため、IGABITOの育成を図ることを目的として市内県立高等学校内に設置された実行委員会等に補助金を交付する。	3	7
55	-	-	IGABITO育成事業（IGABITO交流拠点応援補助金）	伊賀市 (地域創生課)	R6 ～	自らが地域の担い手となる意識を持つ地域創造人材（IGABITO）の育成及びシビックプライドの醸成をめざし、市内において若者の交流の場として施設を整備し運営する団体等の活動を応援するため補助金を交付する。	1,3	7
56	25	21	周遊性向上事業	伊賀鉄道株式会社	H19 ～	伊賀鉄道利用者の利便性向上を図ることで、伊賀鉄道の利用者数を向上させるため、「誰もが1日乗り放題のきっぷ販売事業」の実施や「スイーツ列車・伊賀線まつり・ハイキングイベント」等の集客事業を実施する。 また、駅を降りてから目的地までの2種類目の交通機関として、茅町駅に無料のレンタル自転車を設置する。	2	8
57	-	-	まちなかモビリティ導入検証事業	伊賀市	R7 ～	城下町エリアの回遊性向上による観光振興及び公共交通の補完に向け、利便性、機動性の高いモビリティの導入を検証する。	2	8

3期計画 通し番号	中間案 通し番号	2期計画 事業番号	事業名称 (赤字：新規掲載事業)	実施主体	実施時期	事業内容	関連する 基本方針	掲載章
58	-	-	新たなモビリティサービスの積極導入事業	伊賀市 (交通政策課)	R7 ～	既にMaaSに取り組んでいる先進地の自治体から情報を得るとともに、目的地となる施設や関心を持つ企業・市民等と連携しつつ、市民の日常的な暮らし向上に資するモビリティサービスの導入について、調査・研究を行う。	1,2	8